

平成30年12月19日  
玄海ゆりの樹幼稚園  
園長 高杉洋史

## 2学期の御礼

連日、気温が35度を超える日が続いた8月、子どもたちの健康は大丈夫だろうか、運動会の練習を始めることができるだろうか、運動会は日程通りできるだろうかと心配したものです。それでも季節は移り、行事はもちろん一つ一つの教育内容を着実に進めることができたのは、ご両親はじめご家族のご協力のたまものです。ご家庭にはきっと写真やビデオのコレクションが増えたことでしょう。ホームページのワイワイニュースを眺めるにつけ、ついこの前の運動会が次第に思い出になっていくことに時の流れの速さを感じます。それだけに日々の積み重ねの大切さと責任を実感します。墨絵やキルト画などの作品や縄跳び大会前の園児の成長ぶりは見ていて大人まで気持ちが踊ります。

園児に負けじと教諭も成長しています。例年どおり今年も和太鼓の師匠、戸田先生を招いての研修に汗を流しました。例年になかったこととして、溝口先生と早田先生が全日本私立幼稚園教師研修長崎大会で、ドリカムタイムの実践研究を発表してきました。九州各県から幼稚園関係者が集まり教育実践とその教育効果の検証ですから、教育方法における他流試合のようなものです。肯定的な意見も出れば、厳しい意見も出ます。保育学会で揉まれている園長とか美稚子先生なら「そういう見方もあるのね」と思うくらいのご意見でも、日々子どもたちと深く接して、自信をもって行っている実践に質問されたり異なる考えを言われると、ドギマギするものです。したがって大きな研修大会で発表するのはどこの幼稚園の教諭もやりたくないのが本心です。そのなかで、二人の発表は好評を得ました。スポーツのように金メダルはありませんが、子どもたちの経験、体験を増やしそれが自分で考え行動することに育つことが私たちの金メダルです。

保護者の皆様には今学期もたくさんお世話になりました。体重や身長を測ってくださったお母さん方、キラキラ委員の皆さん、絵本のカバーアップに器用さを発揮してくださった保護者の皆さんとの立ち話の中から、体の成長とともに友達のことや遊びのこと、言葉や心の成長のことを教えていただきました。クラス委員さんはじめ運動会委員さん、もちつき委員さんは汗だくの活躍でした。皆様の力あってこそその行事でした。ありがとうございます。パパズやパパズチューターの皆様からは、特に慣れからくる油断を断ち切る刺激をいただきました。今後とも暖かい叱咤激励をお願いいたします。

さてお正月の向こうに表現発表会が見えてきました。いよいよこの学年の育ちが一段とはっきり目と心に響いてくる行事です。楽しみにしましょう。

